

接続期のカリキュラムを考えていきましょう (幼児期編) 年長10月ごろから

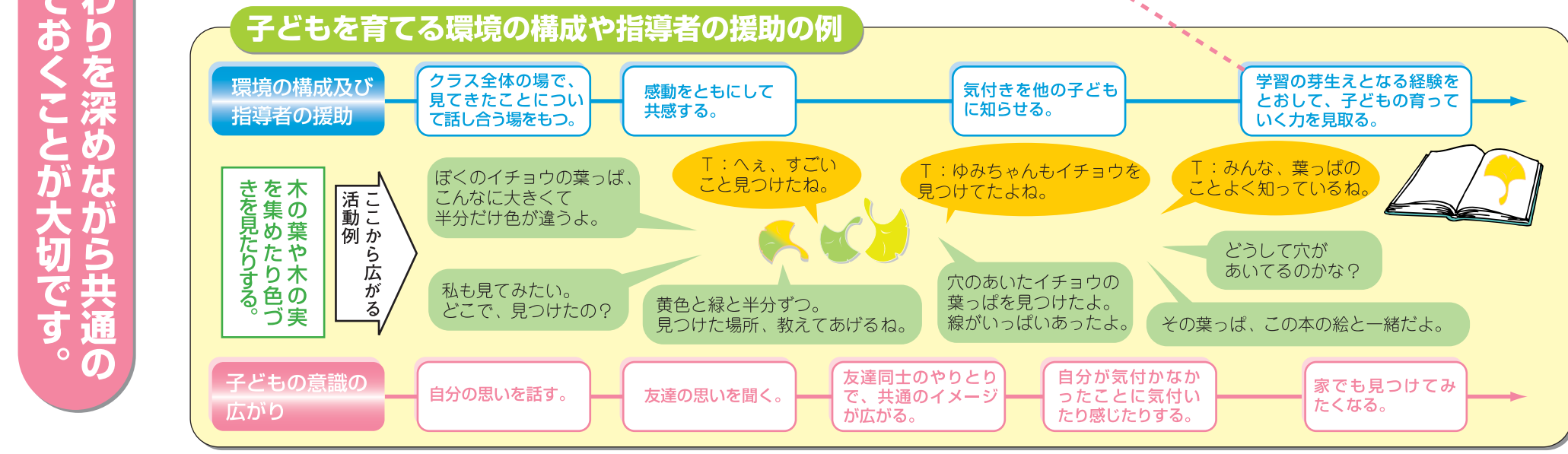
友達とのかかわりを深めながら共通の目的をもって遊びを進めていく時期
 いろいろな活動に意欲的に取り組み、クラスとしての意識が高まる時期

5歳児

- 運動会ごっこをして遊ぶ。**
 - リレー、玉入れ、綱引きをする。
 - フォークダンスやバルーンをする。
 - 遊びに必要なものをつくる など。
- 秋の自然物を活かして遊ぶ。**
 - 木の葉や木の実を集めたり色づきを見たりする。
 - 木の葉や木の実をいろいろなものに見立てて遊ぶ。
 - 「どんぐりかぞく」などの歌を歌ったり楽器を演奏したりする。
 - 絵本や図鑑を見る など。
- 物語で遊ぶ。**
 - 物語の登場人物などになって遊ぶ。
 - いろいろな材料で劇遊びに必要なものをつくる。
 - 劇遊びをする など。

これらの活動で育っていく子どもの力の例

| 活動例 | 協同的な経験 | 学習の芽生えと経験 |
|--------------------------------|--|--|
| リレー遊びの活動 | <ul style="list-style-type: none"> チームが勝つという目的に向かって友達と力を合わせた作戦をたてたりする。 トラブルを解決するには、自分の考えを主張するだけでなく、自分の気持ちを抑えていくことも必要なことに気付く。 競技に負けて泣くと、自分だけでなく、周りの友達も楽しくないことが分かる。 活動したあとは、友達と協力して片付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 友達と遊びのルールを作り出したり、もっと楽しくなるように工夫したりする。 |
| 木の葉や木の実を集めたり色づきを見たりする活動 | <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に色づいた木の葉を見たり並べたりして、その美しさを共有し、伝え合う。 遊びの中でトラブルになっても、自分たちで解決すると更に遊びが楽しくなることに気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> 木の葉や木の実をいろいろなものに見立てたり組み合わせたりする。 興味をもって身の回りの自然を見ることで、自然物や季節の変化などの美しさや不思議さに気付く。 |
| 物語の登場人物などになって遊ぶ活動 | <ul style="list-style-type: none"> 友達と役を代わったり、協力したりして劇遊びをやり遂げようとする。 自分の力を精一杯出さずして活動する。 友達が、登場人物などになって動いたり話したりしていることを、注意して見たり聞いたりしようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり自由にかいたりつくったりする。 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する。 |



育っていく子どもの力

保育所・幼稚園卒園・修了のころ

協同的な経験から

- 友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする。
- してよいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
- 自分たちで約束やルールを作り、それを守る。
- 動植物に親しみや愛情をもつ。
- 自分でできることは自分でする。
- 分からないことや不思議だと思ったことは、調べたり考えたりして知ろうとする。
- 自分の考えたことや感じたことを表現し、友達に伝える。
- 見つけたり考えたりしたことを遊びの中に取り入れる。
- 生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。

学習の芽生えとなる経験から

人間関係

規範意識

感性

自立心

関心・意欲・態度

思考・表現

技能

知識・理解

小学校(低学年)のころ

特別活動・道徳などをとおして

- 学級の一員として仲よく助け合う。
- 友達と協力して活動する。
- よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。
- 生命を大切にすることを。
- 美しいものにふれ、すがすがしい心をもつ。
- 自分がしなければならないことは、最後まで行う。
- やり遂げた自分に自信をもつ。
- 身近な人やもの、ことに関心をもち、進んでかかわりながら楽しく学習をしようとする。
- 自分の生活で経験したことを、自分なりに考えたり工夫したりして表現する。
- 自分が感じたり調べたりしたことを、いろいろな方法で表現する。
- 体全体の感覚や技能を働かせながら、かいたりつくったり歌ったりする。
- 活動や体験をしながら、ひとやものなどの様子に気付いている。
- 言語や数量、図形などの理解の基礎となる経験を重ねている。

各教科の学習をとおして

この時期に子どもがどのように育っていくのか、お互いに知っておくことが大切です。

家庭との連携

指導者の相互理解

子ども同士の交流

地域との連携

こんな指導計画や指導方法の工夫を考えてみるとよいのでは…

これまで、入学してからすべてがスタートだと考えていただけ…

1年生6月ごろまで(児童期編)

入学までの育ちを活かした学習場面の例

第1学年5月 特別活動

「きゅうしょくについてはなしあおう」において

- 保育所や幼稚園でやっていたことを思い出しながら、自分たちで準備や後片付けの役割を考える。
- 給食を食べるときの約束について話し合う。

3歳児のお手伝いをしていたから配れるよ。

牛乳は重いから、友達といっしょに持った方がいいな。

第1学年4月 特別活動

「あいさつをしよう」において

- 音楽の時間に学習した歌に合わせて、国語で学習したひらがなを使って名前あてゲームや名刺交換をする。新しい友達の名前を覚えていく。

※同じ時期に計画したい学習例
 (生活科) 「ともだちいっぱい」
 (音楽科) 「ぞうさんのさんぽ」

友達の名前がいっぱい分かったよ。

友達の名前を国語のノートに書いてみようかな。

自分の名前も覚えてもらってうれしいな。

第1学年5月 生活科

「がっこうたんけん」において

- 友達と一緒に他の学年の先生やお兄ちゃん、お姉ちゃんに声をかけてもらったり教えてもらったりしながら、学校の中を探検してたくさんの発見をする。
- 自分が作った名刺を、学校中の職員に渡しに行く。
- 学校探検でみつけたことを、先生や友達に知らせる。

※同じ時期に計画したい学習例
 (図画工作科) 「さわってかんじて」
 (音楽科) 「とてであいさつ」

小学校には、いっぱい秘密があってもいいな。また探検に行きたいよ。

上手に名刺が作れたねってほめてもらったよ。もっとたくさん作りたくなってきたよ。

第1学年5月 国語科

「たんけんしたよ、みつけたよ」において

- 学校探検で見つけたことの中で、一番知らせたいことを決める。
- 自分たちが知らせたいことを家の人に伝えるために、書いたり作ったりして準備する。
- 家の人に発表を聞いてもらい、感想を聞く。

※同じ時期に計画したい学習例
 (図画工作科) 「かいたよ、つくったよ」
 (音楽科) 「わくわくりずむ」

校長室で見つけた大きな時計のことをカードに書いてお知らせするよ。

友達のお母さんがほめてくれたよ。もっといっぱい見つけてみたかったよ。